

プレスリリース（2023年6月12日）

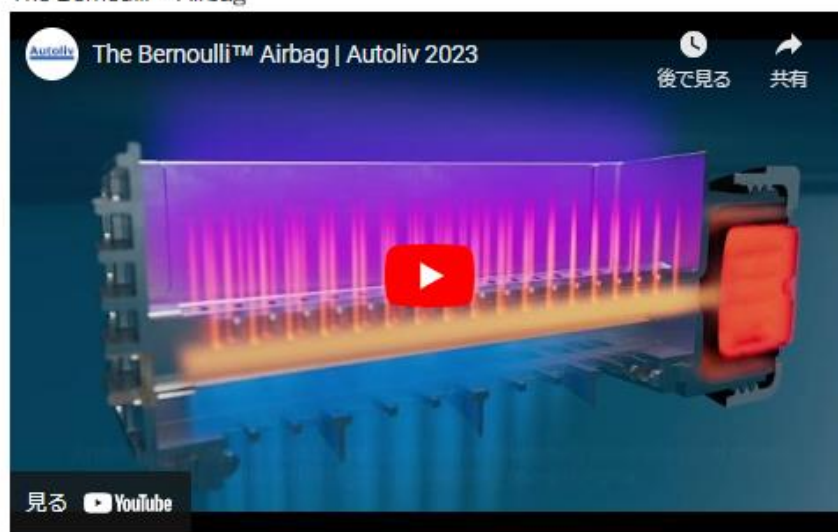
オートリブがベルヌーイの定理に基づいた革新的な助手席エアバッグを発表

（オーバーンヒルズ、ミシガン州／米国、2023 年 6 月 12 日）—自動車安全システムで世界をリードするオートリブ（NYSE 略称：ALV、SSE 略称：ALIVsdb）は、特許取得済の革新的な新型助手席エアバッグモジュールを発表しました。このエアバッグは、ベルヌーイの定理に基づいており、より大きなエアバッグをさらに効率よく膨らませるだけでなく、開発にかかる時間とコストも削減できます。Bernoulli™エアバッグは今年第3四半期に商品化予定で、米国ミシガン州オーバーンヒルズにて開催されるオートリブ・インベスター・デーで展示されます。



オートリブの新型エアバッグモジュールは、飛行機が飛ぶ理由など多くの現象を説明する、スイスの数学者・物理学者ダニエル・ベルヌーイの流体力学の基本定理に基づいています。ベルヌーイの定理は、流体の速度が増加すると同時に静圧が減少することを表しています。この定理を利用すると、圧力の差を活用して周囲の空気を使ってエアバッグを膨らませることが可能です。

The Bernoulli™ Airbag



■参考：Bernoulli エアバッグ紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=ar5uWsSkrfs>

「大きなエアバッグは、より広いコップピットや快適な座席を備えた新しい電気自動車に必要とされていますが、当社はそうした大きなエアバッグをより小さなシングルステージのインフレーターで膨らませる方法を開発しました。Bernoulli エアバッグは、あまり熱を発生せず、より軽量で、さらに米国において、お客様が実施する開発試験を 30%以上減らすことが可能です。低リスクの展開条件もシングルステージのインフレーターで対応できます。」とオートリブ最高技術責任者（CTO）ジョルディ・ロンバルト（Jordi Lombarte）氏は述べています。

Bernoulli エアバッグでは、インフレーターが、衝突が始まったという信号を受け、複数の注入チューブを通じて高圧ガスを超音速で放出します。ガスがチューブを流れると同時に、ガスとともにチェンバー内に周囲の空気を吸い込んで吸気を生み出し、現在必要とされているものよりもさらに小さいインフレーターですと大きなエアバッグを膨らませます。

「これは間違いなく、私たちのお客様ができ得る最も安全な車両を作れるように、私たちがより多くの命を守るために、安全レベルの革新に挑み、それらを再定義するという、取り組みの良い例です。こうした取り組みにより、私たちは安全性の仕組みの他の側面に働きかけ、お客様に新たな選択肢を提供できるので、Bernoulli エアバッグは、より効率的でサステナブルな方法で車両をより安全にする取り組みの大きな一歩です。」と、ジョルディ・ロンバルト（Jordi Lombarte）氏は締めくくります。

エアバッグは車両の重要な安全機能であり、衝突時には死亡や重症のリスクを軽減できます。急速に膨らんで、乗員と車両の間にクッションを形成する仕組みです。エアバッグシステムは、衝撃による傷害の緩和に役立ちます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Media: Gabriella Ekelund, Tel +46(70)612 64 24

Investors & Analysts: Anders Trapp, Tel +46 (0)8 587 206 71

Investors & Analysts: Henrik Kaar, Tel +46 (0)8 587 206 14

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）などの安全保護システムを開発、製造および販売しているほか、歩行者保護、二輪車の運転者向けのコネクティッドセイフティサービスや安全ソリューションも開発しています。オートリブでは、継続して先進的なソリューションを提供するために、モビリティの安全レベルの革新に挑み、それらを再定義し続けています。

27カ国に広がる約70,000人もの従業員は、「Saving More Lives（より多くの命を守る）」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカル

センターを配置し、20の衝突試験装置を保有しています。2022年度の売上高は、88億米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所（NYSE: ALV）に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム（ALIV sdb）に上場しています。

オートリブ株式会社（オートリブ 日本法人）について

オートリブは1987年に日本でオフィスを立ち上げ、35年以上もの間、主に日本の完成車メーカー向けに自動車を含めたモビリティの安全ソリューション（エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイールなど）の開発、製造、販売を行っています。日本のお客様の営業窓口としてグローバルでも重要な拠点であり、テクニカルセンター、生産工場、営業拠点を日本国内に持ち、2,000人以上の従業員が働いています。2022年度の売上高は、926億7,900万円です。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト（英語）

www.autoliv.jp オートリブ株式会社（日本）オフィシャルコーポレートサイト（日本語）

www.instagram.com/autolivjapan オートリブ株式会社（日本）公式インスタグラム（日本語）

セーフハーバー（免責）事項

本文書には、歴史的事実ではなく、1995年の民事証券訴訟改革法にて定義される範囲内で将来の見通しに関する記述とみなされる記述が含まれています。そのような将来の見通しに関する記述には、オートリブまたはそのマネジメントが、将来起こるであろうと考えるまたは予想する活動、事象または展開を示す記述が含まれます。すべての将来の見通しに関する記述は、現時点での我々の期待、さまざまな仮定および第三者から入手したデータに基づいています。我々の期待と仮定は誠実に表現されており、それらには合理的な根拠があると考えています。しかしながら、そうした将来の見通しに関する記述が実現する、または正しいと証明される保証はありません。なぜなら、将来の見通しに関する記述は、本質的に既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因の影響を受けることになり、それらが、そうした将来の見通しに関する記述によって示されるまたは暗示される将来の結果、実績または成果とは実際には大きく異なる将来の結果、実績または成果をもたらす可能性があるからです。数多くのリスク、不確実性およびその他の要因が、将来の見通しに関する記述にて示される結果とは実際には大きく異なる結果をもたらす可能性があります。本書またはその他の文書に含まれる将来の見通しに関する記述について、当社は、1995年の民事証券訴訟改革法に示される、将来の見通しに関する記述に対するセーフハーバー（免責）の保護を主張します。また、当社は、法律にて要求される場合を除き、新しい情報または将来の事象を踏まえて将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

※本資料は2023年6月12日にオートリブ本社（スウェーデン）で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://www.autoliv.com/sites/default/files/pr/202306092613-1.pdf?ts=1686920469>